

第11回柳葉敏郎チャリティーソフトテニストーナメント報告

第11回柳葉敏郎チャリティーソフトテニストーナメントは、2025年10月18日（土）に大仙市 総合公園テニスコートで開催。記念撮影や主催者挨拶などの開会式、プロ選手と地元小学生たちによるエキシビジョンマッチ、お楽しみ抽選会やトークショー等を含む閉会式を織り交ぜつつ、ほぼ全試合を完了した。本報告はこの大会の概要や様子をお届けする。

今年から、小学生と大人が組むエイジ45を新設。エイジ45、50、75、100を合わせて、114ペア228名が参加。

開会式 選手宣誓



雨予報の確率が高く、超ローカルルールとして5ゲームのファイナルのポイントを7から4とし、サービスはファイナル通りに2ポイント毎に相手ペアにうつり、またサイドチェンジ無しで行った。

柳葉さんの雄姿

昼休憩時には、柳葉さんと県出身の九島一馬（ミズノ）選手ペアと、小学生ペアと1ゲームマッチを2回行い、午後2時過ぎに降り出した雨の影響で、各カテゴリーの決勝トーナメントを優先して行った。

九島選手と小学生たち



参加者には、受付時にギバちゃんタオル、大会オリジナルゼッケンが、お昼には豚汁といもの子汁が振舞われ、昼前には沢木写真館様が撮影したグループ写真ができあがり、参加者に手渡された。

参加者全員による記念撮影

大会の成績や会場風景は、別途「X」に掲載されていますので、チェックできます。

プレイを楽しむ柳葉さん



また、閉会式の最中、秋田テレビの「どっかん！中継」が入り、ライブ放送で石垣政和さんがこの大会を紹介してくれた。



ライブ放送中の一コマ



なお、今大会の参加費570,000円と、プログラムの売り上げは、秋田パイロットクラブの石垣政和氏に、柳葉敏郎氏より手渡されたことを報告します。今年、秋田市立飯島南小学校の1年生60名へ自転車用ヘルメットを贈呈されたと報告があった。

閉会式

最後に、この大会の趣旨をご理解いただき、チャリティー大会へ協賛やご協力をいただいた皆様に感謝いたします。

副理事長 東海林裕晴